



# 第79回 九州・沖縄生殖医学会

学術集会長

三浦 清徳

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 産科婦人科学講座 教授

# ● 第79回 九州・沖縄生殖医学会 ●

日 時：2023年4月9日(日) 8:45～16:25

会 場：福岡国際会議場および Web 会場  
福岡市博多区石城町2-1

形 式：ハイブリッド形式

学術集会長 三浦 清徳

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 産科婦人科学講座 教授

〒852-8501 長崎県長崎市坂本1丁目7-1

TEL：095-819-7363

FAX：095-819-7365

# 学術集会長挨拶

## 第79回九州・沖縄生殖医学会の開催にあたって

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 産科婦人科学講座 教授

三浦 清徳



このたび、第79回九州・沖縄生殖医学会を令和5年4月9日(日)に、福岡市の福岡国際会議場で開催させていただくことになりました。長崎大学産科婦人科学教室にとって大変光栄なことであり、九州・沖縄生殖医学会の皆様には深甚なる謝意を表します。

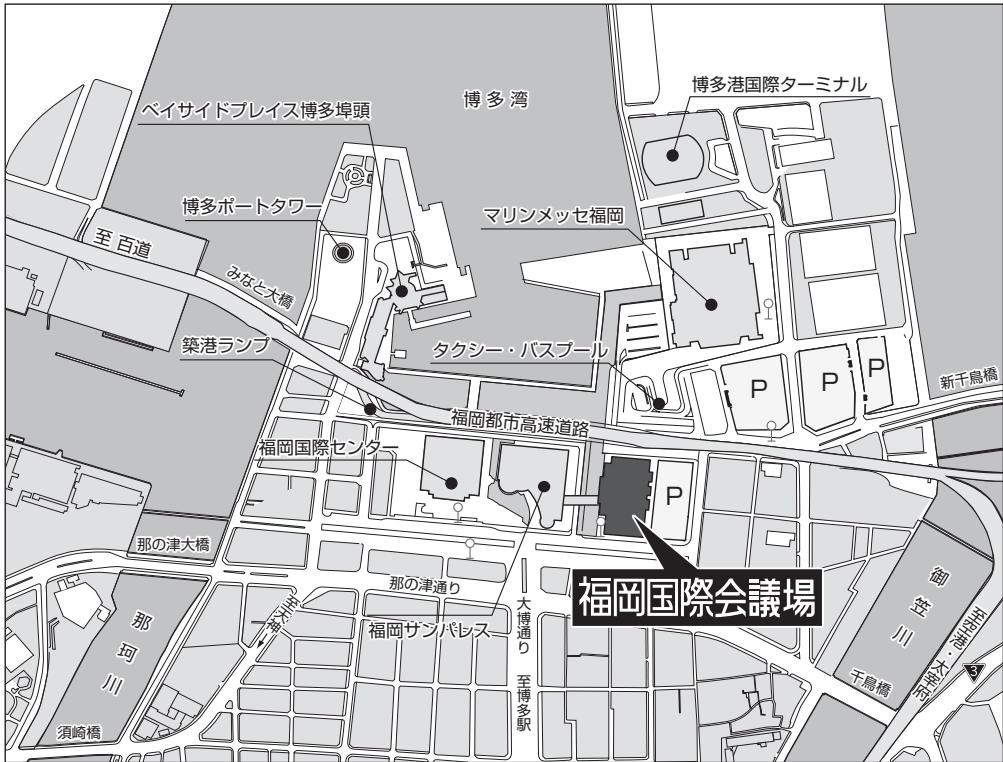
この一年間、不妊治療への保険診療の導入、着床前遺伝学的検査における新たな見解／細則が承認されるなど、社会情勢の変化とともに生殖医療の分野においても大きな動きがございました。不妊症に悩むカップルへ最善の医療を届けるには、生殖医療従事者が、生殖医療の現状と課題についてよく理解し、つねに、その対策を考えていくことが大切です。また、精子・卵子・胚の提供等による生殖補助医療については、社会全体で議論すべき課題です。一方、2022年の国内の出生数は速報値で79万9,728人だったと発表されました。80万人割れは2033年と推定されていたことから、日本における少子化は、想定よりも急速に進んでいることがわかります。生殖に関わる様々な課題に対して、私たち生殖医療の専門家が果たすべき役割は益々大きくなっていると感じております。

今回の学術講演会では、ランチョンセミナーの講師として、慶應義塾大学名誉教授の吉村泰典先生をお迎えしております。会員の皆様には、倫理的・法的・社会的課題(Ethical, Legal and Social Issues: ELSI)の観点からも、日本における生殖医療の現状と今後の展望について理解を深める機会にさせていただきたいと考えております。また、モーニングセミナーの講師にはフェニックスアートクリニック院長の藤原敏博先生をお迎えしております。藤原先生と私はGnRHパルス療法などで著名なMassachusetts General HospitalのWilliam Crowley先生の門下生であり、本学術講演会では生殖医療における最近の話題について紹介していただく予定です。

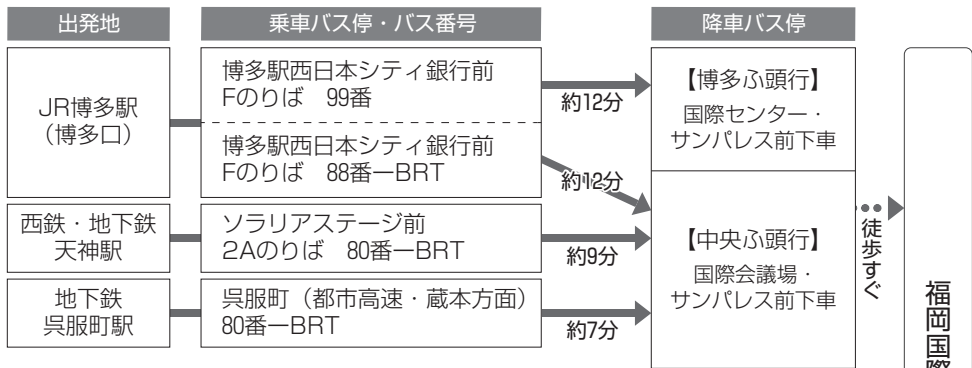
開催形式は、現地とWeb配信とのハイブリッド開催で準備しております。新型コロナウイルスは、しばらくなくなることはありません。しかしながら、何もわからなかった3年前とは異なり、新型コロナウイルスに対するワクチンが開発され、学術講演会の安全な開催に必要なとされる感染対策も把握されてきました。これまで対面での発表の機会が限られていた皆様には、活発な議論の場を提供したいと考えております。

末尾になりますが、本会の開催にあたり日本生殖医学会九州ブロック会長の河野康志先生、あすか製薬株式会社ならびにフェリング・ファーマ株式会社の皆様にご多大なるご協力とご尽力を賜りましたこと、この場にて厚く御礼申し上げます。今回も多くの会員から演題が集まり、43演題の発表が予定されております。春の福岡で、学問はもちろん観光なども楽しんでいただけると幸いです。万全な感染対策のもと、多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

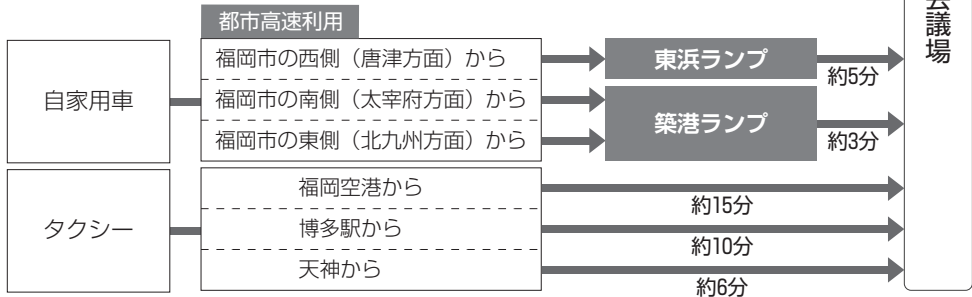
# 交通案内



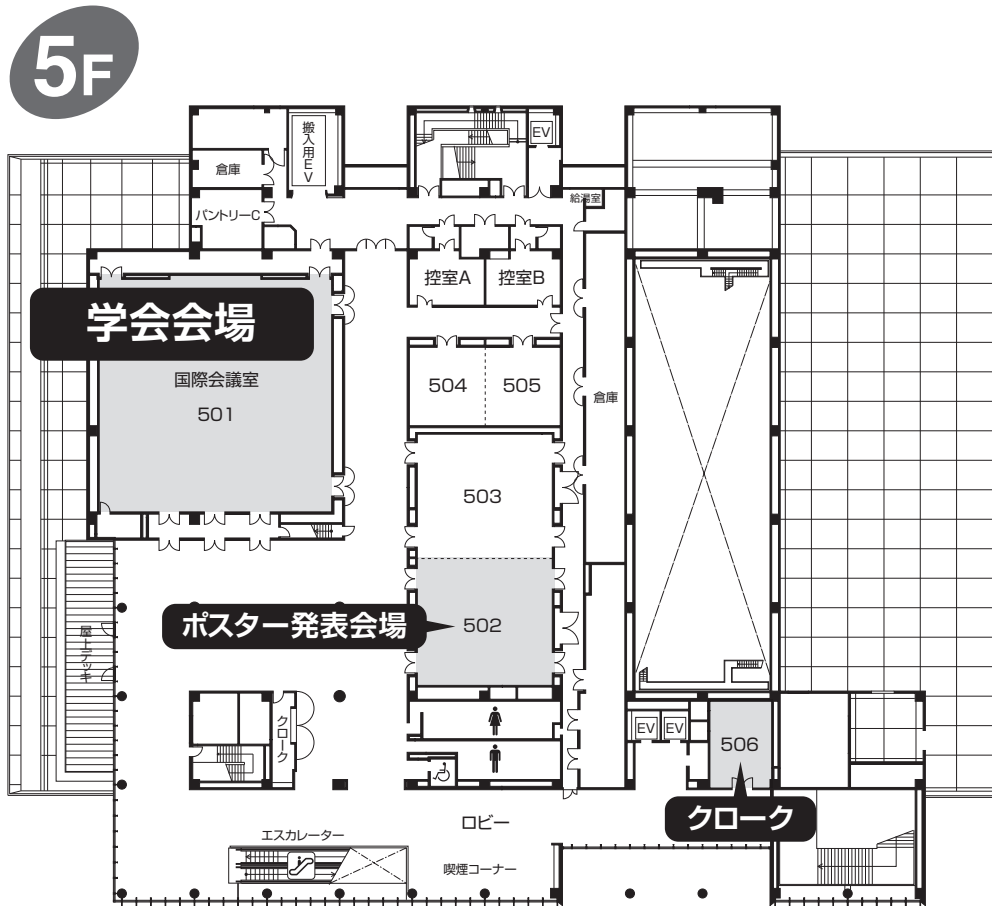
## ● バス利用



## ● 自家用車／タクシー利用



# 会場案内



## 参加される方へ

本会は、新型コロナウイルス感染拡大を鑑み、現地開催に加えて Web から参加できるハイブリッド開催となります(ライブ配信のみ、オンデマンド配信はございません)。参加される方は、できるだけ事前に参加登録をお願いします。参加登録をされた方は現地・Web のいずれでも自由にご参加いただけます。尚、当日現地での参加受付も対応いたします。

### ■事前参加登録期間

2023年3月6日(月)～4月9日(日)正午

※当日もオンライン登録ができます。

### ■参加費

参加区分	参加登録費
会 員	5,000 円
非 会 員	5,000 円
初期研修医、院生、学生	無 料(当日現地のみ受付)

※初期研修医、院生、学生の方は無料です。参加は当日現地会場でのみ受け付けます。在籍証明書を受付にてご提示ください。

- 仮参加登録が完了しますと「仮参加登録メール」が送信されます。メールに記載してあるカード決済の URL をクリックしてお支払いを完了させてください。
- お支払い方法はカード決済のみとなります。
- カード決済完了時に届くメールに、参加費領収書の URL が記載されています。ダウンロードしてご利用ください。
- 理由の如何にかかわらず、参加登録後の返金には一切応じられませんので、ご了承ください。
- 参加登録を完了された方全員に Web 参加ログイン用 ID、およびパスワードをメールでお知らせします。

※学会会期の直前または当日に参加登録をされた方には、カード決済完了メールでご連絡いたします。

### ■抄録誌の販売について

本会のプログラム抄録誌は九州・沖縄生殖医学会会員の方には事前に郵送いたします。購入を希望される方には、当日現地にて販売いたします。Web での購入はできません。

※非会員・Web 参加で抄録誌が必要な方は、事務局(大分大学)までご連絡ください。

抄録誌 現地販売 1冊500円

## 参加される方への単位取得について

### ■現地参加の方へ

日本産科婦人科学会会員の方は会場の単位登録受付にて「JSOG カード」または「JSOG アプリ」を提示のうえ、単位登録を済ませてください。

日本産科婦人科学会会員の方は以下の単位が取得できます。

- ① 学術集会出席：日本産科婦人科学会専門医研修出席証明 10点
- ② 学術集会出席：日本専門医機構学術集会参加単位 2単位
- ③ 【産婦人科領域講習】受講：日本専門医機構【産婦人科領域講習】 1単位

### 日本専門医機構単位付与講習【産婦人科領域講習】について

日本専門医機構産婦人科領域講習単位(1単位)は、セッション開始の10分前から講習参加受付を開始します。講演開始時間から10分以上過ぎた場合、聴講は可能ですが、原則として専門医機構単位付与はされませんのでご注意ください。

### モーニングセミナー

「ART 保険診療化を背景に不妊カップルの Time to pregnancy を再考する」

藤原 敏博 先生(フェニックスアートクリニック 院長)

### ランチョンセミナー

「生殖 well-being 実現に向けて」

吉村 泰典 先生(慶應義塾大学 名誉教授)

### 日本産科婦人科医会の単位

日本産婦人科医会の研修参加証につきましては、従来通りシールでの発行となります。

### 日本生殖医学会生殖医療専門医の方々へ

九州・沖縄生殖医学会については、日本生殖医学会生殖医療専門医更新ポイントが10点加算されます。当日受付にて芳名帳にご記名をお願いいたします。

### 日本泌尿器科学会会員の方々へ

- ① ご参加が確認できた方には参加単位(1単位)が付与できます。  
※参加証を日本泌尿器科学会専門医認定更新申請時に添付してご提出ください。
- ② 【学術発表】泌尿器科に関する発表筆頭のみ(1単位)。
- ③ 【司会・座長】泌尿器科に関する発表の司会・座長(1単位)。

## ■ Web で参加される方へ

本会に Web で参加される方も単位申請ができます。

開始前に Zoom ウェビナーにログインして、視聴者名の登録と単位取得申請を済ませてください。

Web 参加ログイン時に、単位申請フォームを設けております。Web 開催時間内に、全ての必要項目を入力して〔送信〕を完了してください。

※事務局で視聴ログを確認するため、試聴終了時は、必ず「ログアウト」よりご退出をお願いします。ウィンドウの「×」ボタンで画面を閉じると、視聴ログが残りません。

## 日本産科婦人科学会会員の方々へ

以下の単位が取得できます。

- ① 日本産科婦人科学会専門医研修出席証明 10点
- ② 日本専門医機構学術集会参加単位 2単位
- ③ 日本専門医機構〔産婦人科領域講習〕 1単位

①と②は時間内に少なくとも1演題を視聴した方(演題の指定はありません)に単位が付与されます。

③産婦人科領域講習に関しましては、以下のセッションを最初から最後まで視聴された方にのみ単位を付与いたします。

### モーニングセミナー

「ART 保険診療化を背景に不妊カップルの Time to pregnancy を再考する」

藤原 敏博 先生(フェニックスアートクリニック 院長)

### ランチョンセミナー

「生殖 well-being 実現に向けて」

吉村 泰典 先生(慶應義塾大学 名誉教授)

## 日本産婦人科医会会員の方々へ

申請フォームから申請された方に研修参加証(シール)を送付いたします。

## 日本生殖医学会会員の方々へ

生殖医療専門医で参加(視聴)が確認できた方には生殖医療専門医更新ポイント(10点)が付与されます。

※申請時に日本生殖医学会の会員番号と専門医番号が必要です。



日本泌尿器科学会会員の方々へ

- ① ご参加が確認できた方には参加単位(1単位)が付与できます。  
※参加証を日本泌尿器科学会専門医認定更新申請時に添付してご提出ください。
- ② 【学術発表】泌尿器科に関する発表筆頭のみ(1単位)。
- ③ 【司会・座長】泌尿器科に関する発表の司会・座長(1単位)。

---

## 座長の先生方へ

---

座長の先生方は当日現地会場にご来場いただき、担当セッションの進行をお願いいたします。Web視聴者からの質疑を「チャット」または「手を挙げる」で受ける予定ですので、ご対応のほどよろしくをお願いいたします。

セッション進行につきましては、座長に一任いたします。時間厳守で、円滑な運営にご協力をお願いいたします。

---

## 演者の皆様へ

---

一般演題は現地発表とします。

- 口演時間はプログラムページでご確認ください。
- 発表時間は7分(発表5分・質疑2分)です。時間厳守でお願いします。
- ポスター発表は掲示のみです(口演はございません)。

【連絡先】長崎大学医学部 産科婦人科学教室

〒852-8501 長崎市坂本1丁目7-1

TEL : 095-819-7363 FAX : 095-819-7365

### ■口演発表

- 受付へデータ(USB)をお持ち下さい。動画再生がある方、Mac PCをご利用の方はご自身のPCをお持ち下さい。
- PCによってはプロジェクター出力に専用のコネクターが必要になりますので、必ずお持ちください。事務局で用意するのはHDMIに対応する端子のみとなります。
- 会場スピーカーに音声は流せません。
- PC 受付の液晶モニターに接続し、映像の出力チェックを行ってください。
- スクリーンセーバー、省電力設定は事前に解除をお願いします。電源アダプタは必ずご持参ください。
- Power Pointは2019年バージョンを用意しております。これ以前のPower Pointをご利用の方はご自身のPCをお持ち下さい。尚、発表者ツールはご利用いただけません。

## ■ポスター発表

- ポスターはプログラムに掲載されている演題番号と同じ番号のパネルにご自身で掲示をお願いいたします。

掲示時間：8時45分～9時30分の間をお願いします。

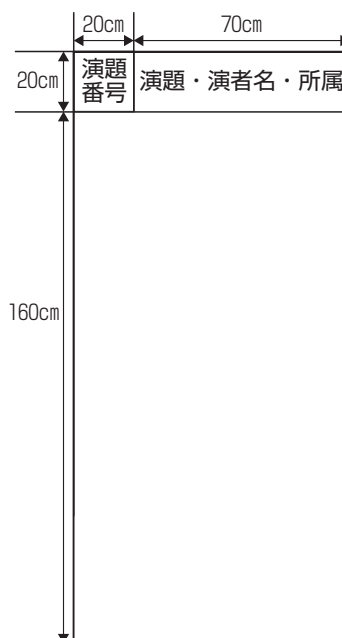
撤去時間：15時00分～16時00分の間撤去してください。

時間内に取り外されないものは処分します。

### ・注意事項

最上部の演題番号は運営事務局で用意します。

演題名、演者名、所属については横70cm×縦160cmです。内容の配置は自由ですが、末尾には必ず結論を記載してください。



## 利益相反開示について

臨床研究に関するすべての発表において利益相反状態の有無にかかわらず、開示する必要があります。発表時にはひな形(ppt)に準じたスライドを呈した上で、利益相反状態の有無を述べてください。開示する利益相反状態は抄録提出の1年前から発表時までのものとします。

また、利益相反状態の開示に関しては、すべて日本生殖医学会の「利益相反に関する指針(2011年9月2日施行)」に拠るものとします。

スライドのひな形は本会ホームページの演題募集ページからダウンロードできます。

## 視聴者の皆様へ

開催形式：現地開催+ライブ配信のハイブリッド開催となります。

※後日のオンデマンド配信は行いませんのでご了承下さい。

参加される方はできるだけ事前の参加登録をお願いします。

配信時間：学会プログラム時刻と同時(ライブ配信のみとなっております)

視聴URL：参加登録完了後にメールにて個別にお知らせ致します。ご質問の際は「チャット」もしくは「手を挙げる」を押して発言をお願いします。

# 第79回九州・沖縄生殖医学会 プログラム

日 時：2023年4月9日(日)

場 所：福岡国際会議場および Web 会場

評議員会・総会 8:45～9:00

開 会 9:00～

学術集会長 三浦 清徳(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 産科婦人科学講座 教授)

---

モーニングセミナー 9:05～10:05

座長：田中 温(セントマザー産婦人科医院 院長)

## ART 保険診療化を背景に不妊カップルの Time to pregnancy を再考する

藤原 敏博 フェニックスアートクリニック 院長

共催：フェリング・ファーマ株式会社

---

第1群 [卵巣刺激] 10:05～10:33

座長：銘苺 桂子(琉球大学病院 周産母子センター)

### O-01 医学的適応に対するランダムスタート法での卵巣刺激の当院の現況

○山道 里佳、野見山 真理、清水 彩理、大淵 紫、佐護 中、有馬 薫、  
古賀 利子、内山 陽子、隈本 巧、小島 加代子  
医療法人社団 高邦会 高木病院

### O-02 GnRH antagonist delayed stimulation 法と Progesterin-primed ovarian stimulation 法併用療法の有用性

○折田 有史、岩川 富貴子、竹内 美穂、桑鶴 ゆかり、黒木 裕子、  
福元 由美子、溝部 大和、徳留 茉里、燃脇 晴恵、竹内 一浩  
竹内レディースクリニック

### O-03 Follitropin delta (レコベル®)の当院での使用経験

○江夏 悠介、吉岡 尚美、小川 尚子、大塚 未砂子、蔵本 武志  
医療法人 蔵本ウイメンズクリニック

## O-04 ARTの卵巣刺激中に急性腹症を示した希少部位子宮内膜症を伴う虫垂炎の一例

○中島 章<sup>1)</sup>、上村 慶一郎<sup>1)</sup>、金沢 衣見子<sup>1)</sup>、塚原 崇夫<sup>3)</sup>、谷口 雅彦<sup>3)</sup>、  
徳永 義光<sup>2)</sup>

1)医療法人 杏月会 空の森 KYUSHU、2)医療法人 杏月会 空の森クリニック、  
3)社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院 外科

---

## 第2群 [培養・胚評価] 10:35～11:10

座長：伊東 裕子(セント・ルカ産婦人科)

## O-05 iDAScore<sup>®</sup>による胚評価と胚の倍数性の関連性

○燃脇 晴恵、溝部 大和、桑鶴 ゆかり、黒木 裕子、福元 由美子、  
徳留 茉里、折田 有史、岩川 富貴子、竹内 美穂、竹内 一浩  
竹内レディースクリニック附設高度生殖医療センター

## O-06 液胞発生時期別による胚発生への影響と臨床成績との関係性

○大坪 可奈子、仲宗根 巧真、水本 茂利、渡辺 瞳、田中 啓子、長尾 洋三、  
江夏 悠介、吉岡 尚美、大塚 未砂子、蔵本 武志  
蔵本ウイメンズクリニック

## O-07 当院における移植胚の選択基準

○中村 千夏、上田 真理奈、松下 ゆうき、徳永 友里恵、池田 早希、  
江崎 彩乃、早崎 理加、白石 真璃菜、沖田 愛理、木下 和雄、三好 潤也、  
小山 伸夫  
医療法人聖命愛会 ART 女性クリニック

## O-08 年齢ごとの抗酸化剤添加培養液の効果について

○影山 美桜、仲宗根 巧真、水本 茂利、渡辺 瞳、田中 啓子、長尾 洋三、  
江夏 悠介、大塚 未砂子、吉岡 尚美、蔵本 武志  
蔵本ウイメンズクリニック

## O-09 過酸化水素ガス滅菌器(XZ型)を用いた培養皿の滅菌条件検討

○谷端 李穂<sup>1)</sup>、泊 博幸<sup>1)</sup>、溝部 智之<sup>2)</sup>、水谷 麗香<sup>2)</sup>、中村 日香里<sup>2)</sup>、  
橋口 祐樹<sup>2)</sup>、國武 克子<sup>1)</sup>、内村 慶子<sup>1)</sup>、本庄 考<sup>1)</sup>、詠田 由美<sup>1)</sup>  
1)医療法人アイブイエフ詠田クリニック、2)三浦工業株式会社

---

## 第3群 [凍結・胚移植1] 11:10～11:38

座長：野見山 真理(高木病院)

### O-10 当院における高濃度ヒアルロン酸培養液と従来培養液の妊娠率、流産率、生産率の比較

○沖田 愛理、中村 千夏、松下 ゆうき、徳永 友里恵、上田 真理奈、池田 早希、江寄 彩乃、早崎 理加、白石 真璃菜、木下 和雄、三好 潤也、小山 伸夫

医療法人聖命愛会 ART 女性クリニック

### O-11 凍結融解胚盤胞移植における AHA 施行の有無による妊娠率の変化

○徳永 友里恵、中村 千夏、松下 ゆうき、上田 真理奈、池田 早希、江寄 彩乃、早崎 理加、白石 真璃菜、沖田 愛理、木下 和雄、三好 潤也、小山 伸夫

医療法人聖命愛会 ART 女性クリニック

### O-12 融解時に変性を繰り返す胚へ浸透圧変化を緩慢にすることで妊娠に至った症例

○奥平 ちずか、瀬底 亜里沙、喜名 咲子、内間 美奈、門馬 友香、松原 恵美梨、平敷 美海、杉尾 俊輔、東 舞、徳永 義光  
空の森クリニック

### O-13 保険診療下での凍結胚移植における内膜調整法に関する検討

○詠田 真由、権藤 咲紀、齋藤 研祐、佐野 由香子、泊 博幸、國武 克子、内村 慶子、金原 恵利子、本庄 考、詠田 由美

医療法人 アイブイエフ詠田クリニック

---

## ランチョンセミナー 11:50～12:50

座長：三浦 清徳(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 産科婦人科学講座 教授)

### 生殖well-being 実現に向けて

吉村 泰典 慶應義塾大学 名誉教授

共催：あすか製薬株式会社

---

## 第4群 [凍結・胚移植2] 13:00～13:21

座長：桂木 真司(宮崎大学医学部附属病院 産婦人科)

### O-14 ホルモン補充周期の融解胚移植後妊娠における Placenta accreta spectrum 発症リスク因子の検討

○藤田 智之、吉里 俊幸、深川 真弓、三田尾 拓、牛嶋 公生  
久留米大学 産科婦人科学教室

### O-15 長期胚凍結保存後の臨床成績および出生児調査

○後藤 香里、小林 あやね、大津 英子、甲斐 由布子、津野 晃寿、  
伊東 裕子、後藤 裕子、宇津宮 隆史  
セント・ルカ産婦人科

### O-16 前子出産から凍結胚融解移植による次子治療開始までの期間と 初回融解胚移植成績

○末永 めぐみ、篠原 真理子、上拾石 富士代、脇野 弓穂、山本 芳樹、  
日高 直美、伊藤 正信、松田 和洋  
松田ウイメンズクリニック

---

## 第5群 [男性不妊1] 13:25～14:00

座長：古賀 文敏(医療法人 古賀文敏ウイメンズクリニック)

### O-17 人工知能を用いた精子選択補助システムの開発と機能評価

○泊 博幸<sup>1)</sup>、國武 克子<sup>1)</sup>、窪山 貴恵<sup>1)</sup>、谷端 李穂<sup>1)</sup>、服部 敏征<sup>2)</sup>、  
中澤 慎二<sup>3)</sup>、權藤 咲妃<sup>1)</sup>、加藤 真由<sup>1)</sup>、本庄 考<sup>1)</sup>、詠田 由美<sup>1)</sup>  
1)医療法人アイブイエフ詠田クリニック、2)株式会社エビデント、  
3)エルピクセル株式会社

### O-18 Physiological ICSI の臨床的有用性の評価

○窪山 貴恵、泊 博幸、國武 克子、内村 慶子、下瀬 瞳、北岡 杏奈、  
谷端 李穂、權藤 咲妃、本庄 考、詠田 由美  
医療法人アイブイエフ詠田クリニック

### O-19 当院での3PN胚、2.1PN胚、多PN胚の検討

○中島 大輔<sup>1)2)</sup>、米本 昌平<sup>1)</sup>、竹本 洋一<sup>1)</sup>、桑鶴 知一郎<sup>1)2)</sup>、永吉 基<sup>1)</sup>、  
田中 威づみ<sup>1)</sup>、田中 温<sup>1)</sup>  
1)セントマザー産婦人科医院、2)産業医科大学 産婦人科

**O-20** 男性不妊治療 ROSI (Round Spermatozoid Injection) の臨床成績を改善するための新しい治療の開発についての検討

○田中 温<sup>1)</sup>、竹本 洋一<sup>1)</sup>、桑鶴 知一郎<sup>1)2)</sup>、中島 大輔<sup>1)2)</sup>、永吉 基<sup>1)</sup>、田中 威づみ<sup>1)</sup>、渡邊 誠二<sup>3)</sup>

1) セントマザー産婦人科医院、2) 産業医科大学 産婦人科、  
3) 弘前大学大学院 医学研究科 生体構造医科学講座

**O-21** ROSI の臨床成績改善のためのマウスを用いたヒストン脱アセチル化阻害薬スクリプタイトの効果に関する検討

○竹本 洋一<sup>1)</sup>、桑鶴 知一郎<sup>1)2)</sup>、中島 大輔<sup>1)2)</sup>、永吉 基<sup>1)</sup>、田中 威づみ<sup>1)</sup>、田中 温<sup>1)</sup>、渡邊 誠二<sup>3)</sup>

1) セントマザー産婦人科医院、2) 産業医科大学 産婦人科、  
3) 弘前大学大学院 医学研究科 生体構造医科学講座

---

**第6群 [男性不妊2]** 14:00～14:28

座長：井上 善仁(医療法人 井上善レディースクリニック)

**O-22** クロミフェンクエン酸塩の造精機能に対する治療効果

○横山 裕  
医療法人横山裕クリニック

**O-23** 閉塞性無精子症における経直腸超音波検査の有用性

○成吉 昌一、庄 武彦  
MR しょうクリニック

**O-24** 久留米大学泌尿器科における男性不妊診療開始1年間の歩み

○上村 慶一郎<sup>1)</sup>、星野 龍志<sup>1)</sup>、名切 信<sup>1)</sup>、野見山 真理<sup>2)</sup>、小島 加代子<sup>2)</sup>、中島 章<sup>3)</sup>、三田尾 拓<sup>4)</sup>、藤田 智之<sup>4)</sup>、深川 真弓<sup>4)</sup>、井川 掌<sup>1)</sup>

1) 久留米大学 医学部 泌尿器科学講座、2) 高邦会高木病院 産婦人科、  
3) 空の森 KYUSYU、4) 久留米大学 医学部 産婦人科学講座

**O-25** 脊損専門病院との施設連携による男性脊損患者の早期妊孕性評価の試み

○庄 武彦<sup>1)</sup>、成吉 昌一<sup>1)</sup>、高橋 良輔<sup>2)</sup>  
1) 医療法人鶴生会 MR しょうクリニック、  
2) 独立行政法人労働者健康安全機構 総合せき損センター 泌尿器科

---

## 第7群 [ART その他] 14:30～14:58

座長：沖 利通(鹿児島大学医学部保健学科 成育看護学講座)

### O-26 着床不全患者にフローラ、トリオ検査は有効な検査かどうかの検討

○永吉 基<sup>1)</sup>、桑鶴 知一郎<sup>1)2)</sup>、中島 大輔<sup>1)2)</sup>、田中 威づみ<sup>1)</sup>、田中 温<sup>1)</sup>

1)セントマザー産婦人科医院、2)産業医科大学 産婦人科

### O-27 40歳以上の高齢患者の不妊治療後転帰に関する検討

○権藤 咲紀、詠田 真由、佐野 由香子、泊 博幸、金原 恵利子、本庄 考、  
詠田 由美

医療法人アイブイエフ詠田クリニック

### O-28 niPGT-A の最適な培養液採取時期の検討

○小林 あやね<sup>1)</sup>、大津 英子<sup>1)</sup>、後藤 香里<sup>1)</sup>、甲斐 由布子<sup>1)</sup>、津野 晃寿<sup>1)</sup>、  
伊東 裕子<sup>1)</sup>、柳原 玲<sup>2)</sup>、倉橋 浩樹<sup>3)</sup>、後藤 裕子<sup>1)</sup>、宇津宮 隆史<sup>1)</sup>

1)セント・ルカ産婦人科、2)株式会社 OVUS、  
3)藤田医科大学 医科学研究センター 分子遺伝学研究部門

### O-29 当院における低頻度モザイクおよび高頻度モザイク胚の検討

○米本 昌平<sup>1)</sup>、竹本 洋一<sup>1)</sup>、田中 威づみ<sup>1)</sup>、中島 大輔<sup>1)2)</sup>、桑鶴 知一郎<sup>1)2)</sup>、  
永吉 基<sup>1)</sup>、田中 温<sup>1)</sup>、渡邊 誠二<sup>3)</sup>

1)セントマザー産婦人科医院、2)産業医科大学 産婦人科、  
3)弘前大学大学院 医学研究科 生体構造医科学講座

---

## 第8群 [妊孕性温存・心理・看護] 15:05～15:40

座長：近藤 英治(熊本大学大学院生命科学研究部 産科婦人科学講座)

### O-30 当院における社会的適応による卵子凍結保存の現況

○金原 恵利子、泊 博幸、齋藤 研祐、権藤 咲紀、詠田 真由、本庄 考、  
詠田 由美

医療法人アイブイエフ詠田クリニック

### O-31 分子標的薬による寛解導入療法後に2回の妊孕性温存療法を行い、異なる治療成績を得た多発性骨髄腫の一例

○友延 尚子、藏本 和孝、詠田 真由、河村 圭子、濱田 律雄、横田 奈津子、  
磯邊 明子、宮崎 順秀、大石 博子、加藤 聖子

九州大学病院 産科婦人科



**O-32** 宮崎県のがん・生殖医療の現状と今後の展望

○桂木 真司  
宮崎大学医学部附属病院

**O-33** 不妊治療公的医療保険適用に関するアンケート調査

○戸高 里美、薬師寺 しおり、松土 留美、後藤 裕子、甲斐 由布子、  
津野 晃寿、伊東 裕子、宇津宮 隆史  
セント・ルカ産婦人科

**O-34** 腹式子宮筋腫・腺筋症核出後患者の創部に対する退院支援の検討

○大塚 華恋、甲斐 忍、薬師寺 しおり、後藤 裕子、甲斐 由布子、  
津野 晃寿、伊東 裕子、宇津宮 隆史  
セント・ルカ産婦人科

---

**第9群 [手術・検査]** 15:40～16:15

座長：北島 道夫(長崎大学 産科婦人科)

**O-35** 当院での不妊患者における子宮筋腫核出術の治療成績に関する検討

○三好 潤也、木下 和雄、小山 伸夫  
医療法人聖命愛会 ART 女性クリニック

**O-36** 卵管留血症合併不妊症に対して、その摘出術を行った治療成績

○神山 茂<sup>1)</sup>、高山 尚子<sup>1)</sup>、早田 季美恵<sup>1)</sup>、山城 貴恵<sup>1)</sup>、中島 章<sup>2)</sup>、  
寺田 陽子<sup>1)</sup>、佐久本 哲郎<sup>1)</sup>、東 政弘<sup>1)</sup>、徳永 義光<sup>1)</sup>  
1)医療法人 杏月会 空の森クリニック、2)空の森 KYUSUYU

**O-37** 当院における不妊症に対する細径子宮鏡手術の検討

○松村 麻子<sup>1)</sup>、倉田 奈央<sup>1)</sup>、平木 裕子<sup>1)</sup>、河野 通晴<sup>1)</sup>、平木 宏一<sup>1)</sup>、  
藤下 晃<sup>1)</sup>、木下 直江<sup>2)</sup>、林 徳眞吉<sup>2)</sup>、高原 沙綾<sup>3)</sup>、岡本 純英<sup>3)</sup>  
1)済生会長崎病院 産婦人科、2)済生会長崎病院 病理診断科、  
3)岡本ウーマンズクリニック

**O-38** PCOS に対する腹腔鏡下卵巢多孔術の治療成績の検討

○伊東 裕子、長木 美幸、薬師寺 しおり、後藤 裕子、甲斐 由布子、  
津野 晃寿、宇津宮 隆史  
セント・ルカ産婦人科

**O-39** 不妊症の多嚢胞性卵巣症候群におけるインスリン抵抗性の  
評価に関する検討

○宮村 侃、北島 道夫、梶村 慈、松村 麻子、宮下 紀子、松本 加奈子、  
北島 百合子、三浦 清徳  
長崎大学病院 産科婦人科

---

閉 会 16:15～

日本生殖医学会九州・沖縄ブロック長挨拶

河野 康志(大分大学医学部 産科婦人科)

次期学術集会長挨拶

学術集会長挨拶 三浦 清徳(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 産科婦人科学講座 教授)

---

## ポスター発表

### **P-01** 保険適用 ART における卵子成熟率の比較

○篠原 真理子、末永 めぐみ、上拾石 富士代、脇野 弓穂、岩下 夢美、  
山本 芳樹、日高 直美、伊藤 正信、松田 和洋  
松田ウイメンズクリニック

### **P-02** 回復培養に GM-CSF 含有培地を用いた凍結融解胚盤胞移植の妊娠成績

○山本 新吾、岩田 叶絵、松尾 則子、宮田 知子、山本 奈理、井上 善仁  
医療法人井上善レディースクリニック

### **P-03** 良好胚盤胞(ガードナー分類3BB以上)を凍結融解胚移植した際の 女性 BMI と妊娠成績についての検討

○山下 由貴、原田 枝美、岡本 真実子、尾石 友子、青柳 陽子、麻生 咲季、  
河野 康志  
大分大学医学部附属病院 産科婦人科

### **P-04** 保険適用に伴う ART 患者の変化や思いの調査

○村上 貴美子、久保島 美佳、今村 奈摘、徳永 美樹、江隈 直子、  
高尾 ひろみ、安藤 優織江、吉岡 尚美、蔵本 武志  
蔵本ウイメンズクリニック

# 一 般 演 題

## O-01 医学的適応に対する ランダムスタート法での 卵巣刺激の当院の現況

○山道 里佳、野見山 真理、清水 彩理、大淵 紫、  
佐護 中、有馬 薫、古賀 利子、内山 陽子、  
隈本 巧、小島 加代子

医療法人社団 高邦会 高木病院

【緒言】 悪性腫瘍患者に対する妊孕性温存目的の卵子凍結や胚凍結では、原疾患治療への時間的ロスを防ぐため、月経周期に関わらず卵巣刺激を開始するランダムスタート法が普及し始めている。当院での2症例を報告する。

【症例】 1例目は、34歳0妊0産未婚、乳癌ⅡA期の術後療法を控えている。月経13日目の黄体期よりレトロゾールとrFSH製剤で卵巣刺激を開始。卵巣刺激10日目に最大卵胞22mm、E2 1,975 pg/mlの時点でHCG製剤をトリガーに2日後採卵、16個の卵子を凍結した。採卵後よりレトロゾールを再開したが、採卵3日後に卵巣過剰刺激症候群(OHSS)中等症と診断。カベルゴリン、GnRHアンタゴニスト製剤、ドパミン療法にて、採卵10日後より改善を認めた。2例目は、34歳0妊0産未婚、乳癌ⅡB期の術後療法を控えている。ブセレリンでの排卵後、月経28日目よりレトロゾールとrFSH製剤、プロゲステロン製剤での卵巣刺激を開始。卵巣刺激14日目に最大卵胞22mm、E2 4,301 pg/mlの時点でブセレリンをトリガーに2日後採卵、17個の卵子を凍結した。採卵日よりカベルゴリンとGnRHアンタゴニスト製剤を投与し、OHSSの発症なく経過した。

【考察】 不妊の背景のない症例では不妊症例よりもOHSSへの慎重な対応が必要であることを再認識した。また、今回15個以上の卵子凍結ができ、ランダムスタート法の有効性を確認した。ランダムスタート法は採卵数など通常法と有意差がないとの報告もあり、今後より安全で好成績な方法の確立が望まれる。

## O-02 GnRH antagonist delayed stimulation 法と Progestin- primed ovarian stimulation 法 併用療法の有用性

○折田 有史、岩川 富貴子、竹内 美穂、  
桑鶴 ゆかり、黒木 裕子、福元 由美子、  
溝部 大和、徳留 茉里、燃脇 晴恵、竹内 一浩  
竹内レディースクリニック

【目的】 2017年本学会にART反復不成功例に対するGnRH antagonist delayed stimulation法の有用性について報告した。近年では本法の排卵抑制法をGnRH antagonist法(AT-AT法)からPPOS法(AT-MPA法)に変更し良好な成績を得ている。ここに本法の有用性を報告する。

【方法】 2021年1月～2022年12月に前治療で妊娠に至らずAT-MPA法を行った49例に対し、前周期と比較検討した。さらにpoor responder群と胚質不良群に層別化し検討した。

【成績】 背景は年齢39.0 [33.0-40.0]歳、AMH 1.92 [1.01-2.97]、採卵回数3.0 [2.0-5.0]回、分娩回数0 [0-1]回、poor responder群11例、胚質不良群38例、前周期はウルトラショート法13例(26.5%)、FSH-AT法9例(18.4%)、FSH-MPA法(20.4%)、CC-HMG-MPA法(34.7%)であった。AT-MPA群は前周期に対しMⅡ率(74.8% vs 57.7%)、良好胚盤胞形成率(良好胚盤胞/2PN 37.2% vs 14.9%)を有意に改善し、poor responder群・胚質不良群に層別化しても同様の結果であった。また、排卵によるキャンセル例もなかった。この結果は2018年のAT-AT群に劣らない結果であった。

【結論】 AT-MPA法はAT-AT法に劣らない有用な調節卵巣刺激法であり、今後も症例を蓄積し、妊娠率などの周産期アウトカムについても検討していきたい。

## 第79回九州・沖縄生殖医学会

---

学術集会長：三浦 清徳

発行者：長崎大学医学部 産科婦人科学教室  
〒852-8501 長崎県長崎市坂本1丁目7-1  
TEL：095-819-7363 FAX：095-819-7365

事務局：大分大学医学部 産科婦人科学講座  
〒879-5593 大分県由布市狭間町医大ヶ丘1-1  
TEL：097-549-4411(代) FAX：097-586-6687

出版：株式会社セカンド  
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11  
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025